

愛知県半田市発「中華茶房うんぶう」

ボーダーレスな地域社会が  
人を幸せにする

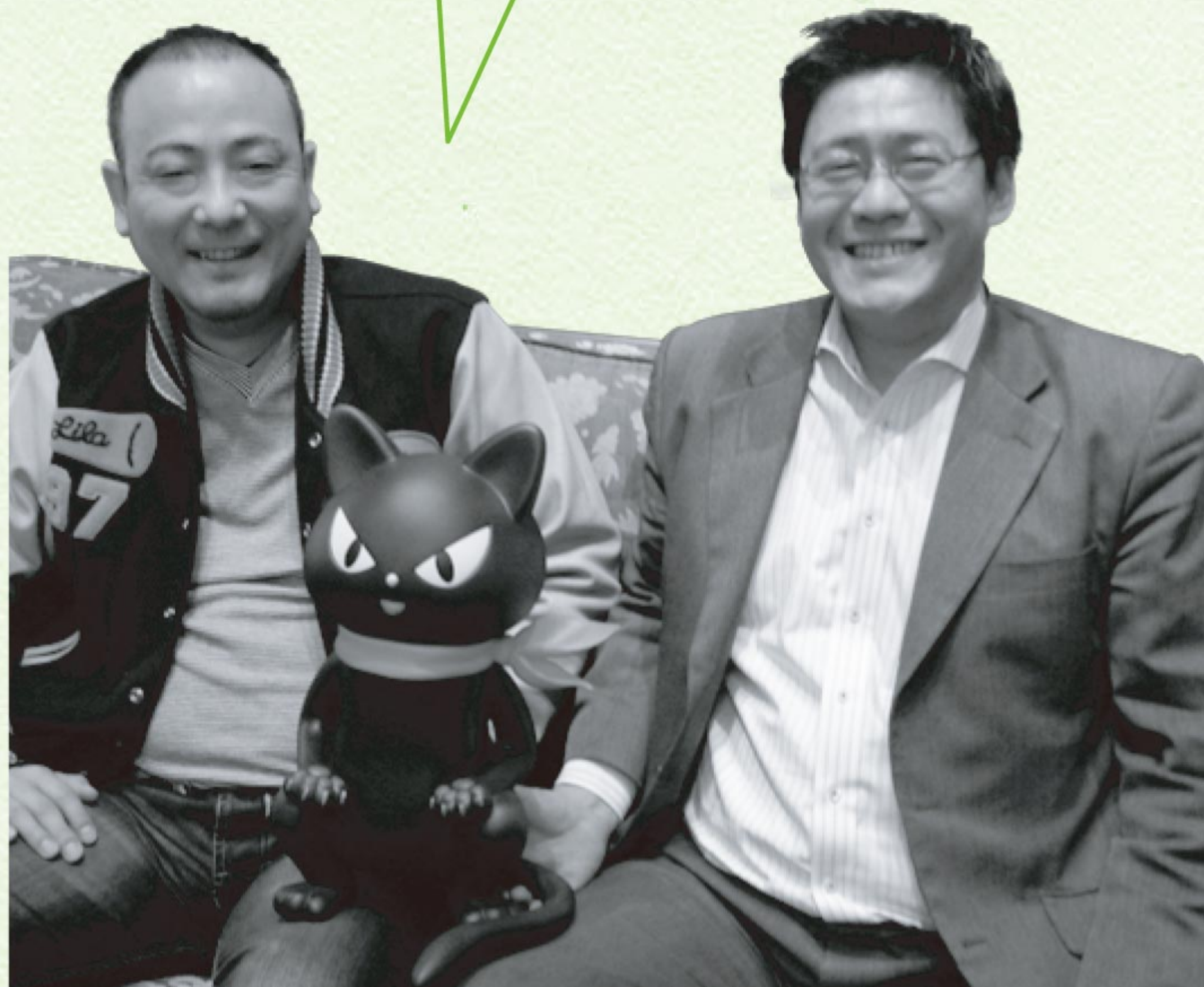


うんぶうのみんな  
ラーメン最高だったよ。  
ごちそうさま！

独特の縦長の形をした厨房にて、左から西畠義浩さん、杉本竜一さん、戸枝陽基さん、山本勇介さん。スタッフのできること、できないことに合わせて、麺ゆで、湯切り、盛りつけ、洗い物、レジ対応など、細かく持ち場を決めているので作業にはまったく支障がない。



前回の旅、原幼稚園で人との出会いに欠かせない。挨拶の大切さを学んだオイラが次に出かけたのは、愛知県半田市で障がいのある皆さんが働くラーメン店だ。そこでオイラは、一見、障がいの社会進出をサポートしているとは思えない、目つきの鋭い二人のオヤジに出会った。特定非営利活動法人ふわりの理事長である戸枝陽基さんと、株式会社インサイトの代表取締役・関原深さんだ。彼らが創る、開かれた職場、はみんなに心地よい、ボーダーレスな場所だった。



お二人とクロッチ  
特定非営利活動法人ふわり／社会福祉法人むそう理事長の戸枝陽基さん（左）と、株式会社インサイト代表取締役の関原深さん。

美味しい  
ラーメンが  
出会いを創る

名古屋駅から車で小1時間、半田市にある「中華茶房うんぶう」にたどりついてオイラが目にしたのは、ロツジ風の建物。ん？ ラーメン店じゃなかったの？「いらっしやいませ！」明るい笑顔が迎える店内は広くてお洒落で、オープンキッチンのような厨房で働く従業員の黒のユニフォームもカッコいい。「ねえ、すっかり気に入ったよ」。オイラは、この

背中を押す、本人の可能性を引き出す場。社会性は社会に参加して初めて生まれるわけで、職員とだけ接していても生まれないでしょ。飲食店は味がよければお客さんが来てくれる、自然に人と出会う場だものね。



働く人を  
大切に  
する目線で  
質を追求

それにしてもラーメンが美味しい。一つひとつでも丁寧な仕事だ。あらためて店内を見回すと女性客も多くなってきている。「味、内装、サービス、すべてに妥協しないクオリティを追求しているからね」。

「中華茶房うんぶう」。広くてお洒落な店内、笑顔で声をかける接客、そしてなによりも味が抜群で、この日もたくさんの女性客でにぎわっていた。

クロッチ



に勤務した金融のプロ、関原のオヤジだ。「偶然に自閉症や発達障がいの皆さんの就労支援研究事業に関わったのがキッカケで、福祉事業のコンサルタントとして独立し、2008年に戸枝さんと出会ったんだ」。ふーん、福祉事業のコンサルタントって何をするの？「飲食店として普通に経営が成り立つように、1円でも多く稼いでもらうための提案をすること。売り上げ目標を立てる、販路を開拓する、デザインや価格を見直すとかね、いわゆるマーケティングのお手伝いだよ」。

障がいの者の一般的な給料はなんと月額約1万円と聞いて、オイラは驚いた！しかも就労施設って全国に1万か所もあるらしい。厳しい環境のなか、関原のオヤジはどうしたら彼らの給料を少しでも増やせるのかを毎日考えている。「でもね、福祉のスタッフはとても優秀で吸収力も高い、そして『利他』他人のために働く人たちはとても強いんだ。福祉は究極のサービス業、ビジネスノウハウを取り入れれば必ず変わるよ」と関原のオヤジも熱い口調で語る。「だけど、効率だけを上げればいいわけでもないんだ」と二人は続けた。戸枝のオヤジが言うには、いそがし

すぎると障がいのあるスタッフがついていけない。「中華茶房うんぶう」にも一時はお客さんが多すぎてサポートスタッフばかりが働き、「誰のための職場か分からなくなった」そうだ。「だから、原材料をより良いものにするともに、ラーメン代を少し高くしてお客さんを減らしたりもしたよ」。今は厨房の仕事も障がいの者スタッフが中心、各人が自分のペースで働いている。「最初のうち関原さんは障がいの者を知らなかったけれど、福祉の僕らはビジネスを知らない。たがいの異文化をぶつけあって、真のハイブリッドカーになっていくんだよ」。戸枝のオヤジの言葉に、関原のオヤジもうなずいた。

もつと外に  
開かれた  
生活の場を創る

二人の話を聞きながらふと思った。でも、働く場だけじゃなくて、住む場所も必要だよな。クロッチとしては気になるところだ。「僕たちが支援する人たちは3〜4人で家をシェアして自立する人も多い。働く場と生活する場を創る自分たちのやり方、支援の仕方を全国に広げていきたい」

（戸板さん）。「資金調達に苦労される小さなNGOやNPOも多い。私の金融ノウハウ、スキームをもっと活用してほしい」（関原さん）。

帰りがけに戸枝のオヤジがつぶやいた。「かつて障がいの者は『福子』と呼ばれ、地域に福をもたらす子として大切にされたんだ。障がいを持つ持たないにかかわらず、人を受け入れ支え合い、地域のコミュニティは豊かになった。だからこそ障がいの者は社会の中心で生きるべきなんだ」。そうだ、人も動物もだれもが交わる社会が自然だよ。最強タッグチームにオイラも加わって、ボーダーレスな世界を広める旅をこれからも続けるぞ！

戸枝さんのプロジェクト  
●特定非営利活動法人ふわり  
<http://fuwari.tv/>  
●社会福祉法人むそう  
（「中華茶房うんぶう」の紹介あり）  
<http://www.musou03.org/>

関原さんのプロジェクト  
●ええもん買って被災地支援！  
「ミナナDEカオウヤ」プロジェクト  
<http://www.insweb.jp/report/minnaDE.html>  
関原さんの会社では戸枝さんの協力で、東日本大地震で被災した障がい福祉施設を応援するため、各地点での授産品の販売サイト「ミナナDEカオウヤ」も設けている。  
●株式会社インサイト  
<http://www.insweb.jp>